

「ワーク・モチベーション測定調査を活用した風土改革」セミナー

～組織的不正が生まれない企業風土と「ワーク・モチベーション」の関係を読み解く！～

日時 2019年8月29日(木) 13:30～17:00
※セミナー受付は30分前からとなります。

対象 人事・教育・総務・経営企画部門等の責任者様・ご担当者様

会場 一般社団法人日本経営協会 関西本部内 セミナールーム
(大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル)

定員 40名(最少催行人数:10名)
※申込締切:2019年8月20日(火)

料金 無料 ※ご参加は1社2名様までとさせていただきます。

主催  一般社団法人 日本経営協会

(注) 本企画は、企業の人事・教育・総務・経営企画部門等の、責任者様および担当者様向けのセミナーです。また、同業他社からのご参加はご遠慮いただいておりますので、あらかじめご了承をお願い申し上げます。

開催にあたって

近年、食品偽装をはじめとした食の安全問題、個人情報などの情報漏洩、製品のデータ改ざんや大規模なりコールなど、企業不正に関するニュースが後を絶ちません。これらの多くが、横領などに代表される個人の「得」のための「個人的不正」ではなく、**組織的な問題からくる「組織的不正」といえるでしょう。**

このような不正が起こらない組織風土を作ることを目的に、コンプライアンスをはじめとした意識・倫理感向上の取り組みが進められてきましたが、**こうした意識が従業員に内面化され、社会的使命感を伴わなければ、組織的不正を防ぐことはできません。**つまり、品質問題は組織を構成する「人」に起因する問題であり、**健全な組織風土が求められる**のです。

そこで今回は、従業員のワーク・モチベーションと健全な企業風土の関係について、全国350組織230万人の蓄積データをもとに、専門家よりお話しさせていただきます。

「我々の組織は大丈夫だろうか」「従業員の意識を効果的に測定するにはどうすればよいのか」等でお悩みの方々に、この機会にぜひご参加いただき、人材育成・教育・組織開発等における課題解決のヒントを得ていただけますと幸いです。

講師プロフィール

八木 隆一郎 (やぎりゅういちろう)
公益社団法人 国際経済労働研究所
専務理事・統括研究員
株式会社 応用社会心理学研究所 研究顧問

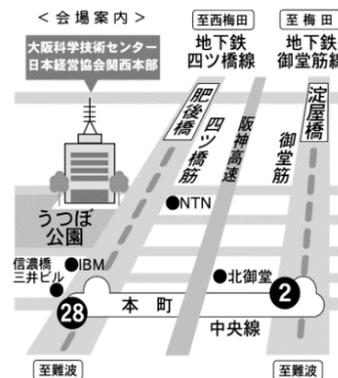


専門は社会心理学。動機づけ、組織論、働きがい、ライフパターンなど研究分野は多岐にわたる。全国の主要労働組合が参加した国際経済労働研究所第30回共同意識調査ON・I・ON(オニオン)2をまとめ、ON・I・ON研究会などの研究グループを主宰。研究の傍ら、龍谷大学で教鞭をとる。

日本社会心理学会では自主シンポジウム『社会心理学における「産・労・学」協同の可能性』を研究メンバーとともに発表。2007年5月に初めて全国約130社(当時)のデータからワーク・モチベーションと企業実績の関係の実証的研究結果を公表。2014年9月にはリーマンショック後のデータから最新知見を発表し労働界のみならず産業界からも注目を集めている。

会場のご案内

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
大阪科学技術センタービル内



- 大阪方面よりお越しの場合
・地下鉄四ツ橋線「本町」駅下車
28号出口より北へ徒歩3分
- 新大阪方面よりお越しの場合
・地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2号出口より西へ徒歩7分
- なんば方面よりお越しの場合
・地下鉄四ツ橋線「本町」駅下車
28号出口より北へ徒歩3分
・地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2号出口より西へ徒歩7分

申込方法

Web(www.noma-front.com/shop/seminar/seminardetail.aspx?seminar=60013750)の申込みフォームよりお申し込みいただくか、裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ郵送又はFAXにてお申込みください。追って、参加券をお送りいたします。

※参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。

セミナープログラム

2019年8月29日(木) 13:30~17:00

【セミナーのねらい】

- ・従業員の意識と組織風土との関係を理解し、組織的な不正が起きない組織の在り方を知る。
- ・「ワーク・モチベーション測定調査」の活用事例や活用方法を理解し、自組織での活用を検討する。
- ・参加者どうしで意見交換を行い、他社の課題や悩み・成功事例や失敗事例等から相互に学びあう。

13:30

I. E S (従業員満足度) 調査の問題と限界

～従業員満足から従業員のワーク・モチベーションへの転換

- ・いわゆるE S調査では何が問題なのか？より効果的な調査のあり方とは？
現実にはみんなが「信じて」「行動する」ことで作り出される、という考え方のもと、これらの問いに答えます。

II. ワーク・モチベーション (WM) とは？ ～理論的背景に基づいた“やる気”の測り方

- ・WM測定調査では、刺激から結果までのプロセスを指す概念としてWMを捉えます。
その利点について解説します。

III. 品質問題と従業員の意識の関係 ～健全な職場風土による品質問題の「予防」

- ・近年の問題となっている組織的不正は外発的には対処できません。
従業員のWMがその防止にどう役立つのかお話しします。

IV. WMは企業業績を予測する ～業績につながる従業員の“やる気”の状態

- ・理論に基づき測定したWMは企業業績を予測することについて解説します。

V. 企業制度・施策とWMの関係 ～従業員のやる気を引き出す制度・施策の検討

- ・これまでの調査から明らかになった、従業員のWMと関連する制度・施策についてお話しします。

VI. S R C (Social Reality Control) のための意識調査

～コミュニケーションツールとしての活用法

- ・調査結果を受けて、どのようにアクションするのか。アクションの対象は社会的現実 (ソーシャル・リアリティ) であるということについて解説します。

17:00

・質疑応答

※適宜休憩時間を確保いたします。

※本セミナーの内容について、個別ご訪問の上、ご説明も可能です。お気軽にお申し付けください。

一般社団法人 日本経営協会 関西本部 経営開発G (山中) 行 FAX 06-6441-4319

「ワーク・モチベーション測定調査を活用した風土改革」セミナー <<参加申込書>> 2019.08.29

会社名 団体名		TEL ()	—
		FAX ()	—
所在地			
	参加者氏名	所属・役職	
	(フリガナ)		
	(フリガナ)		

※参加申込書にご記入いただいた情報は、下記の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなどの本会事業のご案内

なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。 不要